

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3390200560		
法人名	医療法人 養命会		
事業所名	グループホーム養命荘		
所在地	岡山県倉敷市福田町福田2374-5		
自己評価作成日	令和2年1月9日	評価結果市町村受理日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

良い職場環境は良いサービスを提供する一歩です。優しさをもって心あるサービスの提供を心掛けていきたいと思います。事業所理念のもと、その実現のために管理者、職員が一丸になって日々取り組んでいます。入居者様とご家族の声に耳を傾けその思いが実現でき『養命荘にいてよかった』とだけいただけるように日々努力しています。今年度は【ケアプランに沿った介護】を実践し、お一人様ずつのケアを考え取り組んでいます。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ライフサポート		
所在地	岡山市北区南方2丁目13-1 総合福祉・ボランティア・NPO会館		
訪問調査日	令和2年1月29日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

私達が挨拶をしながらリビングに入らせてもらおうと、美味しそうな匂いと、ホットプレートに向かって焼きそば作りにチャレンジしている利用者さん達の意気込みに圧倒された。慣れた手つきで作られた昼食を私達も楽しくいただいた。午後になってホームが鳴り響くような歌声が聞こえたので様子を見に行くと「今日は職員の数も多いので、両ユニット合同のレクリエーションをする」という事で見学させてもらった。水戸黄門の歌に合わせて元気一杯のリズム体操・ペットボトルのボウリングでユニット対抗、等々。皆でかけ声やカー一杯大声の声援で盛り上がった。心も体も、そして利用者・職員も気持ちをひとつにして楽しんでた。この住民のような3匹のワン子ちゃん達も参加していた。元気が溢れんばかりの今日の姿になるまでは色々な困難があったかもしれない。この明るさと前向きな姿勢を今後も持続させて下さい。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念を事務室、各ユニットキッチン内の3か所に掲示し常に意識することができます。ミーティング時に再確認も行っていきます。	職員が常に理念を認識し、「この理念を自分の行動の中でどう表すのが良いか」考えてもらう為によく見える所に掲げていたり、色々な場面で振り返るように心がけている。社内研修の時も優しさを持って心あるサービスを提供出来ているか？話し合っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の子供会の廃品回収に協力し、夏と秋の地区のお祭りには積極的に参加しています。また地区の織物工場が閉鎖された時はお声をかけていただき 反物を譲っていただきました。ホームで色々な工作に使わせていただいています。	地域の秋祭りには子供会と青年部の神輿が来てくれたり、水島支所の作品展に出品して見学させてもらう等、交流がある。最近ホームの近くに次々と新しく家が建てられ、棟上げに招待されお付き合いの幅が広がって喜んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域貢献はできていませんが 施設周辺の雑草や落ち葉がご近所の迷惑にならないよう 春から秋にかけ 入居者様と一緒に草取りや 掃除に取り組んでいます。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者様、ご家族様の参加が実現できました。会議では日々の様子や ボランティアとの交流について報告しています。委員の方の意見を参考にし、日々のサービスの向上に活かしています。	地域の代表として数人の民生委員・包括職員・利用者・家族等が参加して有意義な運営推進会議が行われている。利用者の参加も始まり、今後のこの会の展開に期待している。内容は報告だけでなく、ホームの運営に関わる事等も話し合われている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業所の運営についてわからないことがあれば その都度 相談しアドバイスを受けています。	定期的実施している運営推進会議で、「他のGHの参加について」等相談し、指導を受けたり情報を提供してもらったりしている。また、市の介護保険連絡協議会の研修会への参加もしている。災害対策についても連携をよくとっている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居者様の安全確保と不審者の侵入防止の観点から 玄関の施錠は続けています。この課題は推進会議でも取り上げ 委員方の意見も参考にし続けることとしました。その他の拘束についてはおこなっていません。	現在禁止の対象となる具体的な事例はないが研修をして理解を深めている。理念でも掲げている「やさしさ」を具現化し「どういう事か？」を話し合ったり、スピーチロック等のダメージや対応の具体例も研修している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティング時に 虐待防止についての勉強会を行っています。職員が 他の職員の介護で気になる事があれば 管理者に報告、相談できるようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ミーティング時に勉強会を行っています。今後も勉強を重ね理解を深めていきたいと考えています。個々の必要性については毎月のカンファレンスで現状を観察、報告し検討しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書を ご本人、ご家族、管理者でそれぞれ携帯し、説明書に沿って説明、解説し理解いただき 納得していただいてから サービスを利用していただいています。ご意向はしっかりと聞くように努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見、ご要望が 遠慮なく発信しやすいように2か月に1度 ご意見の書ける用紙を郵送し 受付に意見箱を設置しています。また面会時には ご家族にお声かけをして 意見や要望を聞く機会を作っています。	このホームが力を入れていると思う事は多々あるが、その一つに「利用者・家族の思いを尊重し、意見や要望を聞こうとする姿勢がある」という点で、目標達成計画にも挙げている。「発言や会話を記録しよう」という目標もこの項目につながり、よく努力していると思う。	この項目に関する試行や努力の足取りが、今日の訪問中だけでも幾つも見つける事が出来た。これからも職員間で、また利用者や家族等にも相談しながら試行錯誤を繰り返して下さい。楽しみにしています。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に 全体ミーティングやユニットミーティングを行っています。必要に応じて代表者や顧問社労士が同席で意見交換を行い職員の意思が反映できるようにしています。	母体の医療法人の院長が全職員対象に接遇の研修で「養命会」のあるべき姿勢を語ると共に、職員と話し合うチャンスがあった。顧問社労士も何回も相談に対応してくれている。日頃から気軽に話したり相談出来る雰囲気もある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者には毎日管理者が日々の業務、入居者様の様子、職員の勤務状況を報告しています。また、定期的に管理者が職員の勤務態度や実績について 評価報告しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修を受ける機会を確保しています。また、資格取得についても 積極的に奨励し資格取得費用の補助も行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣の事業者の運営推進会議に参加しています。また、地域の医療機関や介護施設の研修会に参加し 交流を深めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前に 管理者と計画作成担当者が面接に行き ご本人様、ご家族様の要望など意向をお聞きし 不安の解消に努め 安心して生活できるように 支援しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会の際に 施設での生活でご家族が不安に思うことや 要望がないかお聞きしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前と入居後には 管理者と計画作成者と職員でカンファレンスを実施し その時々で必要なケアの対策支援を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	それぞれの入居者様にできることをしていただき 役割をもって家庭的な雰囲気の中で 共同生活がおくれるように支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には ご本人の状況をお伝えし ご家族様の要望をお聞きしています。他病院への定期通院など ご家族様にご協力をしていただいています。また 外出ができるように支援しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様と外出しご自宅に帰られたり お墓参りに行かれる方もおられます。ご友人が面会にきていただけるように 声掛けをしています。	家族の日頃の面会の他にも、友人の多い利用者には電話もかかってくると聞いた。また、家族と一緒に外食したり法事に出席する等、馴染みの関係が継続出来ている人も多く、利用者同士・職員と利用者もしっかり顔馴染みの関係になっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご入居者様同士の関係を把握しレクリエーションの順番や席に配慮しています。また、洗濯物を畳んだり 食器やお盆の片付けなど同じ役割を共有し 協力しながら共同生活を楽しめるように支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院された際には 面会に行き 関係の維持に努めています。退去後も必要に応じてご家族様の相談を受けています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中から ご本人の思いを把握しようと努めています。困難な場合は ご家族様や日々の生活の中から 見つけるように努めています。	「墓参りに行きたい」と職員に思いを伝えにきた人に対して、「玉島に墓参りに行き喜ばれた」という記録があった。利用者の入れ替わりで軽度の人が多くなり会話も多く活気のある今こそ、それぞれの思いや意向をしっかり聞き出し実現出来るように努めている。	昨年度の目標達成計画にも挙げている介護記録への取り組みを、「読む記録」から「見て分かる記録」になるように引き続きチャレンジしてみてください。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様との会話の中からや、ご家族様から今までの生活歴をお聞きしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の生活を見守り どう過ごしているかどのように支援したかを 生活記録に残しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアチェック表をもとに 入居者様の訴えや希望を考え カンファレンスを行っています。ケアプランの内容に意向を取り入れて 作成しています。	本人・家族の意向を踏まえて、ニーズを掘り起こし、個々の状態を把握して職員間で話し合っケアプランを作成している。また、定期的にはアセスメントやモニタリングをして状態の変化に合わせ、現状に即したプランを検討している。	ミーティングの記録に「ケアプランに沿った介護記録が書けていますか」とあったが、ケアプランの内容が身体機能面に重点を置き過ぎと思えるので、ここでどう暮らしたいか、何をしたいか等、本人の言葉(思いや希望)に添ったプラン作りを検討して欲しい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は介護記録に記録しています。特に職員間で共有が必要な内容(主治医のアドバイスなど)については申し送りノートを活用し全員で確認しています。また、2週間に1度 職員全員が入居者様全員の【気づきと様子】をまとめています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様やご家族様の意向をお聞きして出来る範囲で応えられるように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事を把握し 積極的に参加しています。散歩の時には 地域の方や子供たちとの会話を楽しまれ 花や野菜作りを見学させていただいています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に主治医の往診や歯科の往診を受けています。体調に変化があれば すぐに主治医に連絡し 対応を相談しています。	訪問時、ちょうど歯科医の往診の時間であり、定期的な歯科訪問診療や母体病院の主治医の往診等、医療と介護の連携がしっかり出来ている。このホームの受診ノートの記録は、主治医のアドバイスや利用者との会話等、他に類がないくらい素晴らしい。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在 看護師資格を保有している職員が在職しています。かかりつけ医の看護師と常に連絡、相談ができる体制がとられています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には入院先の医療機関に施設での生活の様子を情報提供をしています。また、面会に行きご家族様や医療機関の関係者と情報交換・相談を行っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にご本人様・ご家族様に相談していますが 体調に変化があった時には 主治医を含めて再度説明を行い 理解を得ています。	重度化して医療が必要となり、医療機関へ入院するケースが殆どで、この1年間では重度の人が退所し入れ替わりに軽度の人が増えたので全体的に活気が出てきた。開設以来ホームでの事例はないが、看取りの研修もしており、各職員の研修報告書は院長に提出している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故の発生に備え 職員会議の場で話し合いや 勉強会を行っています。日中や夜間の緊急対応についてのマニュアルを作成しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議の中で『施設を知ってもらうにはまず、地域の防災訓練に参加してみれば』との意見をいただき 地域の防災訓練に参加をしました。	救命救急講習を消防署員から受けたり、年2回、夜間想定・日中の避難訓練を実施し、災害時(津波)の避難マニュアルの作成もしている。また、災害対策について行政に何度となく足を運び相談をしたり、運営推進会議でも話し合っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけや 対応にその方の尊厳を失わないように 日頃から心掛けています。外出するときは 名札を外し 私服で付き添っています。	脱衣場とトイレがつながっているため、失敗時にも即対応出来、自尊心を傷つけることなく羞恥心やプライバシーにも配慮が出来る。直接的な表現はしないように言葉遣いにも気をつけておりコミュニケーションを大切にしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々係る中で ご本人様が自分の思いを自由に表せるような雰囲気を作り 声をかけるようにしています。また、ご本人様に何でも決定できるように働きかけを行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人様のペースを尊重しながら 生活を送っていただけるよう心掛けています。その日に何をしたいかなどを問いかける工夫をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	気候に合った身だしなみが行えるように アドバイスをしています。また、ご自身で選択ができない場合には職員が声掛けをしながら 一緒に服を選ぶようにしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を外部の業者に委託しているため、片付けや洗い物は 一緒にしています。時間に余裕をもって 味噌汁作りや イベント時には調理も手伝っていただき 一緒に食事時間を作るようにしています。	リビングからはホットプレートで焼きそばとチヂミを焼いている美味しそうな香りが漂い、エプロン姿の利用者さん達が手慣れた様子で手伝っていた。バイキング形式の昼食はお替り自由で、各自好きなだけ取り、皆食欲旺盛で楽しくおしゃべりしながらお腹一杯頂いた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量は摂取ごとに記録していません。水分はなかなかとりにくい方もおられるので 何種類か飲み物を用意し 提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアをしていただけるように 声掛けや見守り、介助を行っています。希望者には訪問歯科による歯科診療・口腔ケアを行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄テイツク表を使用し 個々の排泄パターンを把握し トイレ誘導を行っています。また、職員間での情報共有や情報交換に努めています。夜間頻尿や日中失禁回数の多い入居者様にはトイレ誘導の回数を増やしています。	排泄が自立で布パンツで過ごしている人もいますが、大半はそれぞれの状態に合わせてリハビリパンツ、パット併用等様々。定時誘導して排泄の自立につなげている。男性用便器も設置されているが、現在は男女共全員トイレ座位で排泄してもらっていると聞いた。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	職員会議の際に 便秘についての勉強会を開き 原因対策を学んでいます。適度な運動、水分摂取ができるように心がけ できるだけ薬に頼らず排便ができるように取り組んでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	体調を考慮し声掛けを行っています。一人一人の希望を聞いて 湯の温度を変えています。	シャワー浴での対応2名の他は皆浴槽に浸かってゆっくり入浴出来ており、殆どの人が風呂好きだと聞いた。入浴剤を使用したり、利用者個々に家族に持参してもらった化粧水や乳液等を置いて風呂上りにお手入れをしている。また、毎週日曜日には全員の爪切りをして整容にも気をつけている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人様のペースに合わせて休息をいただいています。また、就寝に向けてリラックスできるような工夫を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人のお薬情報を整理してファイルに保存しています。個別の薬ケースで薬を管理しています。服薬確認の際には 名前、日付を声に出し確認してから 服薬していただいています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	テーブル拭き、洗濯物の干し、畳み 食器洗いなど その人その人ができることを役割としていただけるよう 働きかけを行っています。外食や買い物の支援を行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩の付添い、外出(スーパー、飲食店)の支援を行っています。支援が難しい時は ご家族様にも協力していただいています。	四季折々の非日常的な外出支援を始め、最近ではホームのすぐ近くに次々と建つ住宅の周辺を散歩するコースが定番になっているようだ。いろいろな出会いも含め良い気分転換になっており、利用者さん達も楽しみにしていると聞いた。軽度で元気な人が増えたので、外出もこれまで以上にしやすくなるだろう。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預り金として 事務所の金庫に保管し 買い物をしたときは一緒に出掛け 支払いはお本人様にさせていただきます。出納帳を記入し 月に1度 ご家族様に確認していただいています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	要望があれば すぐに対応しています。いつでも自由にやり取りができます。写真入りの年賀状も出せるように支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	整理整頓を心掛け 季節のお花を ご入居者に生けていただき飾っています。フロアでも季節感ができるように職員とご入居者で飾り物を作り デコレーションしています。室内温度、湿度にも気を付けて こまめに調節するように心掛けています。	今日の午後は両ユニット合同でのレクリエーションがあり、楽しいゲーム等をして賑やかな歓声と共に大いに盛り上がっていた。日頃は皆で共同作品を作成したり、歌、塗り絵、脳トレ等、それぞれ好きな事、得意な事に取り組み、その作品の数々がリビングに展示されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル席やソファを配置し ご入居者様同士が自由に行き来し くつろげる工夫をしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使い慣れた家具や 思い出の品々などを居室に持参してもらっています。家庭的な雰囲気を作り 心地よく過ごしていただけるように 工夫しています。	自分流に整理整頓して室内もレイアウトし、ここが自分の城、居場所としている人もいれば、家族が買ってきたリハビリ機器(エアロバイク)を部屋に置き、毎日リハビリに励んでいる人もいる等、それぞれその人らしい個性溢れる住み心地の良い部屋作りをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ユニット内・居室内の整理整頓を心掛け 転倒防止に努めています。また、施設内のほぼすべての場所には手すりを配置し トイレの場所もわかりやすいようにポスターも掲示しています。		